

## 絵馬に描いた願い事を叶えるには？

合格祈願や縁結びなど、願いを込めて描く絵馬。

古来から馬は神さまの乗り物とされ、高価であり権力の象徴でした。奈良時代には生きた馬を社寺に奉納し、日頃の感謝、雨乞いやお願い事をしたそうです。つまり、神さまに元気になってもらい、喜んでもらうためのお供え物が馬だったのです。

やがて、貧しい人でも簡単に奉納できるよう、生きた馬の代用品として木の板などに馬が描かれた絵馬が作られました。

神さまは、誰の願いでも聞き入れるわけではなく、勇気を出して行動する人や努力する人がいると喜び、応援したくなるといいます。

単に神頼みとして絵馬にお願い事を書き示すだけではなく、そのお願い事を叶えるために勇気を奮い物事に挑戦したり、活発に行動できれば、天界の神さまの目に留まり、一層応援してもらえそうです。

お願い事を描きながら、自分の気持ちを引き締めたり、目標や願望に向かう道筋を思い描き、努力する心を湧き立たせることが、絵馬の一番の効果なのではないでしょうか。